

教育委員会だより



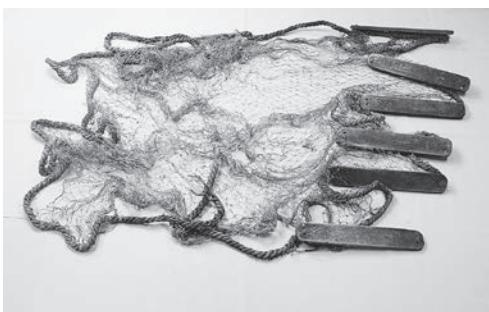
墨書きされたアバ「鰯大漁」と確認できる

歴史文化基本構想の民俗調査で、字中須田在住の京谷作右衛門さんの倉庫を訪問しました。調査は、北海道博物館の会田理人学芸員が行い、明治時代にニシン漁で使用した刺網とアバ（浮き）が発見されました。

これらは、かつてのニシン漁の繁栄を物語る貴重な資料であることから、4月22日にオープンする旧笹浪家住宅で展示する予定です。

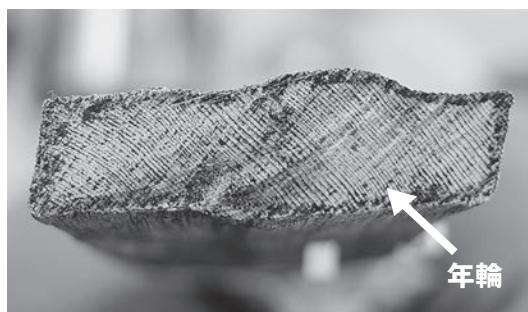


アバなどを確認する会田学芸員(右)



ニシン漁で使つた刺網

ニシン漁で使用した網とアバを発見!



年輪を分析することで気候の把握が可能

2月8～10日に千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館の箱崎真隆特任助教が木の年輪の酸素同位体分析のため、上之国館調査整備センターを訪れました。

木の年輪の酸素同位体の割合は、空気中の水分の影響を受けて決まります。そ



調査をする箱崎先生

文化財
速報

上ノ国町の昔の気候を復元!

第17回連続歴史講座 ふるさとの歴史を読み解く

参加無料

講座2 「勝山館跡の生産関連遺物からわかること」

- ・日時：3月11日（土）13時30分～
- ・講師：独立行政法人国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ 研究員 香名貴彦氏

勝山館出土の金属生産遺物への科学調査からみえてきたことを、本州などの事例と比較しながら紹介します。

講座3 「勝山館跡の使われ方」

- ・日時：3月11日（土）15時00分～
- ・講師：教育委員会 主幹 塚田直哉
- 勝山館跡の遺物と最近の取り組みについて紹介します。

●会場：いすれもジョイ・じょぐら

●お問い合わせ：

上ノ国町教育委員会 文化財グループ
電話 55-2230

の年輪の酸素同位体の割合のパターンは、過去の降水量の変化に反映されます。そのため、箱崎先生は「年輪の酸素同位体の割合を分析することで、勝山館の時代の気候（温度や降水量）の変動を知ることができます。」と話していました。今回は、勝山館跡の出土品を中心に20点ほどのサンプルを取りました。結果については、わかり次第みなさんにご報告したいと思います。

